

令和7年第4回琴浦大山警察署協議会開催状況

開催日時	令和7年11月26日(水)午後1時30分から午後3時15分まで	
開催場所	琴浦大山警察署	
出席者	委員 (定数6人)	永岡会長、榎原副会長、井上委員、清水委員、林委員 以上5人
	警察	中嶋署長、柴田管理官、横山会計課長、高木交通課長、 生活安全刑事課員、地域課員、警務課員 以上7人
議事概要		
1 挨拶	会長及び警察署長が挨拶を行った。	
2 管内治安概況等説明	生活安全刑事課員、交通課長及び地域課員が、令和7年10月末現在等における管内の治安概況について説明した。委員からの主な意見、質疑等とそれに対する警察の回答は次のとおりであった。	
委員	先日、大山町で熊の目撃があったが、熊に関する通報は多いのか。	
警察	直近では、大山町地内と米子市内で熊に関する通報があったと把握している。	
委員	通報はしていないが、熊を目撃したという話は聞くので、被害防止のためにもパトロール等をしてほしい。	
警察	市町村による緊急銃猟制度の運用が開始され、警察においても周辺の検索・警戒や広報等、様々な対策が必要になるので、行政とも情報共有・連携を図りつつ、住民の方々の安全確保に万全を期していく。	
委員	劣化等により道路の中央線が消えている場所があるので、安全のためにも補修はできないか。	
警察	警察としても活動を通じ、補修が必要な場所の把握に努めており、補修が必要な場合は道路管理者に都度連絡をしている。今後も関係機関と連携を図り、安全性を確保していく。	
3 観察	委員は、腹話術による「夜道での反射材と自転車乗車時のヘルメット着用」についての交通事故防止講習を視察し、続いて、「警察官かたり詐欺」に関する寸劇を視察した。委員からの主な意見とそれに対する警察の回答は次のとおりであった。	
委員	腹話術による安全教室も寸劇も非常に練度が高く、分かりやすかった。	
	交通事故防止や特殊詐欺被害防止のためにも多くの人に見せてあげて欲しい。	
委員	特殊詐欺被害防止のためにも防災行政無線をどんどん活用してほしい。	
	また、放送を流すだけでなく、多くの人が関心を持つように何らかの工夫をしてみてはどうか。	
警察	警察としても多くの人に関心を持ってもらうための広報を検討している。	
	防災行政無線は琴浦町、大山町がそれぞれ管理しているため、両町と連携を図りたい。	

委員：特殊詐欺被害防止、交通事故防止対策として、広報強化期間を設け、広報活動をしてみてはどうか。

警察：当署独自の取組として12月9日に琴浦町在住の書家山田美鈴氏を一日警察署長に委嘱し、琴浦町及び大山町で特殊詐欺被害防止及び交通事故防止の広報を実施する予定である。その際、詐欺被害防止対策としてのぼり旗、交通事故防止対策としてタオルに、それぞれ署員が考えた標語を記載したものを作成し、それらを活用しながら広報する予定である。また、警察だけではなく、管内所在の店舗の協力を得て、標語入りパッケージで包装した、まんじゅうを配布する予定である。

委員：地域住民にとって、駐在署員は身近で頼りになる存在であるが、顔を覚える前に異動することもある。住民に顔を覚えてもらったり、警察の活動を知ってもらうためにもケーブルテレビに出演する等、工夫してみてはどうか。

警察：駐在所によっては、イラストが得意な地域住民の御厚意で似顔絵を描いてもらい、その似顔絵を駐在所が作成・発行する広報紙に活用したほか、実際にケーブルテレビに出演し、駐在所の活動を発信するなど住民への周知を図っているところである。今後も、効果的な広報を検討実施していく。

4 その他

次回協議会は、令和8年3月上旬頃に開催する予定である。